



◆発表に向けて最後のグループワーク！

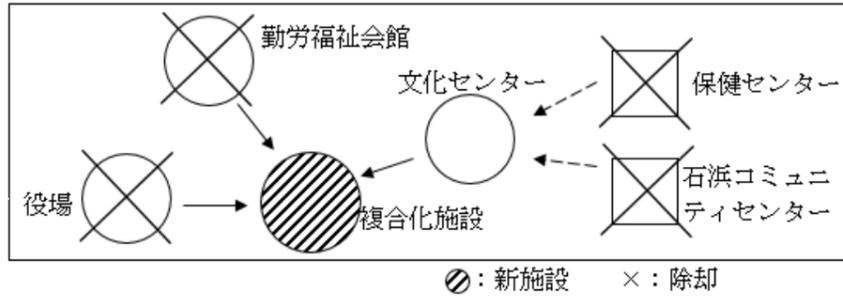
○施設の跡地利用

第3回プロジェクトニュースで、再配置の手法について整理し、再配置のポイントをお伝えしたことについて記載しました。

第3回では、手法の一つとして説明をしましたが、【施設の跡地利用】を考える際には、建物が継続して利用できる可能性もあることから、改めて、『転用するパターン』を具体的な施設で考えた場合について説明しました。



転用例：役場・勤福・文化センターを複合化し、文化センターを転用する。



○延床面積やコストの削減率



統廃合の候補となった施設の延床面積やコストについて、削減率を算出し、統廃合前と後を比較しました。



統廃合や複合化を実施する際に残った跡地は、除却（廃止や売却等）することが一番容易な方法ではありますが、限られた資産を有効に活用することを考える必要があります。

今回は、施設の統廃合について考えていただいておりますが、実際に考えていく時には、民間活力（PPP/PFI）を導入する等、施設の運営方法についても考える必要があります。

○発表資料の作成

今回は、第3回からまとめてきた統廃合案を発表用資料に清書したり、内容の整理をして、発表用に資料をまとめていただきました。

次回は、各グループから発表をしていただきます。評価は発表グループ以外のグループで行います。さらに名古屋大学の小松尚教授もご参加いただき、専門的見地を踏まえて講評いただく予定をしています。

